



すぎさん

<http://www.suginami->

令和3年 5月号

杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南 1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

杉三小の素敵な環境あれこれ…

校長 森賀 慎一

令和3年度の学校が始まって、あっという間に一月が過ぎました。191名の子もたちとスタートした杉三小の生活は、着任早々の私にとって目新しいものばかりで、新鮮な出会いの連続でした。特に感じたのは、杉三小の環境のすばらしさです。紙面の許す限り、ここで紹介させていただきます。

まずは、何と言っても「杉三の森」。すぐそばに青梅街道が通っているとは思えないほど静かで、空気がひんやりとしています。大きな池があり、循環された水が細々と池に流れていてとても風情があります。たくさんの木々に囲まれているため落ち葉も多いのですが、学校警備員さんが毎朝きれいに竹ぼうきで清掃してくださるので、子どもたちの通う道は整然としています。この東門から校舎に向かう緩やかな上り坂が、私の一番のお気に入りです。ランドセルを背負った子どもたちが森の中を歩き、その先には朝日の当たる校舎が待っている光景を見ると、心が洗われる気持ちになります。

次は、遊具の充実ぶりです。一番の目玉は「象の山」と呼ばれる象の鼻の部分の部分が長くなった滑り台です。杉三の森の傾斜を上手に利用して作られた遊具で、大人でも滑ってみたい気持ちにかられるほど魅力的です。休み時間に滑っている子どもたちを見ると、スタートで勢いを付けた高学年児童は、一気に気持ちよさそうに滑り降りていました。一張羅のスーツを着ていた私は滑りたい気持ちを何とか堪えて見守っていたのですが、休日の早朝に小4の息子を連れてこっそりと滑りに来ました。ジーンズ姿のおじさんが夢中になって滑る姿を、誰にも見られていなかったことを確認しながらですが…。また鉄棒、雲梯、上り棒、ジャングリズム、ブランコ等がコンパクトに配置されており、体育の授業もしやすいだろうなと感じました。休み時間にはブランコを交代しながら上手に乗るいいのみ学級の子もたちと、それを見守る先生方の姿も微笑ましかったです。

休み時間の校庭の芝生スペースでは、バク転をする高学年の女子児童がいて驚かされ、その横には「一輪車練習場」があり、中学年の児童が夢中になって練習していました。学校にある一輪車の数がとても充実しているのは、運動会で4年生が一輪車の演技を披露してくれる伝統があるからとのことでした。

さらに屋上に行くと、素敵な農園が表れます。広くて日当たりのよい屋上は、植物を育てるのに向いているのかもしれませんが。ただ自然の雨だけではきっとここまでの状態はならないだろうと感じていると、学校支援本部の皆さんが手をかけ愛情をかけ、子どもたちのためにお世話をしてくださっていることが分かりました。

ここまで杉三小の物理的な環境を紹介してきましたが、人的な環境も素敵だなと思う理由です。例えば、登校時に子どもたちを送ってきてくださる保護者の方々とのちょっとした会話が楽しかったり、子どもたちの元気なあいさつや質疑応答で元気をもらったり…。そんな温かい空間が、杉三小のアットホームな雰囲気を作っていることも感じました。

また学校運営協議会ではCS委員の皆様との話し合いをさせていただいたのですが、そこで伝わってくるのは、「杉三愛」と呼ぶにふさわしい委員の皆様熱量でした。

そして人的環境として忘れてはならないのが、教職員の存在です。子どもたちの力を引き出し伸ばそうと、「子どもたちが主体になって学ぶ授業」づくりにわくわくしながら取り組む先生方、それをサポートする事務職員、用務主事。健康な体づくりを支える給食主事。それぞれの立場で杉三小の子どもたちのために尽力する姿を、この一月間たくさん見てきました。学校規模は決して大きくありませんが、学校にかかわる様々な大人の大きな愛に包まれている杉三小であることを感じています。子どもたちのために、この素敵な環境をさらに発展させていきたいと心に誓っています。



(杉三の森を通過して校舎に向かう子どもたち。右が象の山)